


平成20年度「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	丹後七姫小路による旧花街の活性化
対象地域	宮津市字新浜
活動概要	<p>☆丹後文化を観光資源化する 京都北部の丹後は、天橋立などの景観と松葉かに料理により、年間580万人の観光客を集める。 そのうちの260万人を占める宮津は丹後半島観光の拠点であるが、年々人口を減らし、活力を失いつつある。 数年後の京都縦貫道未開通区間完成によるアクセス改善効果により、京都の奥座敷としての宮津の効用が高まることが予測され、丹後の歴史と文化を求める旅の玄関口としての需要増も見込まれている。 宮津の観光産業の課題は、天橋立股覗きだけで移動する等、滞留時間が短いことである。結果、観光客が一日あたりに消費する観光消費単価が低くなるため、新たな観光メニューの提供が必要である。 この課題に対応するため、宮津で繁栄した花街「新浜」文化の観光資源化を試み、花街経営で培われてきた「おもてなしの心」で新しいニーズの受け皿として位置づけ、新浜文化と丹後広域文化を体感できる場として新浜の再生を進める。</p>
今年度の主な取組	<p>丹後七姫小路による旧花街の活性化事業の実施</p> <p>①空き店舗を利用したモデル館の運営 旧花街の雰囲気を残し、かつ催し物を行える広さを有した空家をモデル館として活動拠点施設として運営する</p> <p>②人材育成(若女将、伝統楽器奏者)事業の実施 観光客を迎える「もてなし」の心を養成するためのもてなし講座や伝統楽器奏者の養成のため三味線講座・小太鼓講座を開催する</p> <p>③集客事業の実施 花街文化の演出空間をつくることで、地域住民と外来客との交流の場をつくるため、イベントや空店舗、空ガレージを利用した宮津の特産品等を販売するマーケットを実施する。</p> <p>④ロゴ、キャラクター、シンボル商品開発 丹後地方にゆかりのある7人の女性「丹後七姫(安寿姫・細川ガラシャ・間人皇后・羽衣天女・小野小町・乙姫・静御前)」を丹後地方一円の特産物のブランド名とするべく、地域振興のためのキャラクターや新たな商品を開発する。</p>

活動結果	<p>集客事業の実施により、地元住民の意識の変化がみられた。これまで、地元では来客が減っても集客への取り組み意識が弱かったものの、イベントなどにより地域一体となった協力体制を生み出すことに成果をあげた。</p> <p>人材育成事業では、宮津の歴史や文化を観光客に紹介できる人の養成のためのもてなし講座を実施した結果、これまで地元住民が見過ごしてきた地元の魅力を、再発見することができた。外に向けて地元を紹介するという観点で地元を見ることが、住民自身の郷土に対する誇りにつながった。また、伝統楽器奏者の養成では、楽器奏者としての研修だけではなく、新浜の歴史や魅力を知る新たな人のつながりが生まれるとともに、受講生が文化交流の担い手として育ちつつある。</p> <p>以上のことから地域の多様な主体との協働により、丹後文化を集めて観光資源化し、地元の自立に繋がる活動のための人的ネットワークと住民のやる気が生まれ、新たなコミュニティの創生に有効であった。</p>
当初予想していなかった効果	<p>集客事業を実施することにより、今まで参加してきた団体の参加に加え、丹後海陸交通(株)、まちづくり推進機構等の予想外の新たな団体から参加希望があり、活動を継続するための新たな人的ネットワークが生まれた。</p> <p>また、当事業で行ったイベントの効果で、地元食材を利用した食事と土産品の販売網が拡大した。</p>
実施状況(写真)	 <p>【写真】人材育成事業の様子(小太鼓講座)</p>
応募団体名	みやづ新浜まちづくり組合
リンク	
部局/担当者名	副理事長 土井和也
連絡先	TEL 0772-22-3400
推薦市町村名	京都府宮津市